

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成28年3月1日(火) 11:00～11:45

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス事務局棟4階)

発表事項

1. 山形大学の研究紹介 ～「都道府県別子どもの貧困率」調査～
2. 山形大学の研究紹介 ～学校教育と価値観の形成～
3. 地域で活躍する学生団体紹介 ～山形大学モンテディオ山形応援サークル～

お知らせ

1. 東北創生研究所主催「次世代地域リーダー育成フォーラム」を開催します
2. 有機材料システムフロンティアセンター開所記念式典、内覧会のご案内
3. 平成29年3月卒業・修了予定者向け「山形大学合同企業説明会」を開催
4. 山形大学学生の継続的被災地復興支援活動「浦戸桂島観光再生ツアー」(第2回)
5. 5年目のキャンドルナイト

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成28年3月14日(月)11:00～11:45

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス事務局棟4階)

学長定例記者会見（3月1日）発表者

1. 山形大学の研究紹介 ～「都道府県別子どもの貧困率」調査～

学術研究院 ^{とむろ}戸室 ^{けんさく}健作 准教授

2. 山形大学の研究紹介 ～学校教育と価値観の形成～

学術研究院 ^{くぼた}窪田 ^{こうへい}康平 准教授

3. 地域で活躍する学生団体紹介 ～山形大学モンテディオ山形応援サークル～

人文学部2年 ^{くりはら}栗原 ^{まり}真理 さん （代表）

人文学部2年 ^{いざわ}井澤 ^{りょううま}凌馬 さん

地域教育文化学部1年 ^{おくやま}奥山 ^{ふみは}文葉 さん

平成28年3月1日
山形大学

山形大学の研究紹介 ～「都道府県別子どもの貧困率」調査～

「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」を使命とする山形大学の“旬な研究”を紹介します。今回は学術研究院（人文学部担当）の戸室健作准教授の「都道府県別子どもの貧困率」調査です。

1. 研究の概要

子どもの貧困対策法が2014年1月に施行されて、自治体では子どもの貧困対策の施策策定と実施が義務づけられた。しかし、地域別の子どもの貧困率は公表されていないため、各自治体では自分の地域にそもそもどのくらい子どもの貧困が存在しているのか分からない状況にある。これでは適切な貧困対策を実施することや、施策の効果を把握することは難しい。そこで、今回、初めて都道府県別に子どもの貧困率とその推移（1992年、1997年、2002年、2007年、2012年）を明らかにした。

2. 研究の方法

計算に用いた資料は、総務省『就業構造基本調査』と、厚生労働省『被保護者調査』である。『就業構造基本調査』を独立行政法人統計センターにオーダーメイド集計してもらい、都道府県別、世帯所得別、世帯人員別に18歳未満の子のいる世帯数の表を得た。この表に『被保護者調査』から算出した生活保護基準の最低生活費を当てはめて、収入が最低生活費以下の世帯を貧困世帯とした。

3. 研究の成果

全国の子どもの貧困率は、5.4%（1992年）→13.8%（2012年）と推移している。全国の子どものいる貧困世帯数は、70万世帯（1992年）→146万世帯（2012年）と推移している。概して関西以西と東北以北において子どもの貧困率は恒常的に高い。沖縄は2012年の数値で37.5%となっている。

地域間格差（上位10地域子どもの貧困率／下位10地域子どもの貧困率）は、5.37倍（1992年）→2.35倍（2012年）と年を経るごとに縮小している。これは、上位10地域の子どもの貧困率の伸びより、下位10地域の子どもの貧困率の伸びの方が大きかったためであり、高位平準化が進んでいる。

（お問合せ先）

学術研究院（人文学部担当）准教授

電話：023-628-4248

Mail：tomuro@human.kj.yamagata-u.ac.jp

とむろけんさく
戸室健作

表8 子どもの貧困率の格差

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計	2012年/1992年
2012年	沖繩	大阪	鹿児島	福岡	北海道	宮崎	高知	青森	和歌山	京都	合計	2012年/1992年
貧困世帯数	51,202	161,914	29,449	83,464	86,114	18,348	11,359	17,425	14,128	37,717	511,120	1.69
総世帯数	136,600	742,500	142,800	418,800	437,000	94,200	60,000	99,000	80,800	219,400	2,431,100	
貧困率	37.5%	21.8%	20.6%	19.9%	19.7%	19.5%	18.8%	17.6%	17.5%	17.2%	21.0%	
2007年	沖繩	高知	大阪	長崎	宮崎	京都	鹿児島	北海道	和歌山	青森	合計	
貧困世帯数	40,398	9,706	128,117	18,135	15,600	32,037	21,947	64,974	11,348	14,781	357,044	
総世帯数	131,800	57,900	784,100	111,800	96,700	209,900	148,000	441,900	82,400	107,800	2,172,300	
貧困率	30.7%	16.8%	16.3%	16.2%	16.1%	15.3%	14.8%	14.7%	13.8%	13.7%	16.4%	
2002年	沖繩	大阪	高知	京都	鹿児島	宮崎	兵庫	熊本	福岡	愛媛	合計	
貧困世帯数	43,103	152,650	10,138	34,788	23,620	15,297	77,578	22,687	63,055	18,138	461,052	
総世帯数	139,200	796,700	65,000	231,300	158,800	104,200	535,800	158,200	440,500	132,500	2,762,200	
貧困率	31.0%	19.2%	15.6%	15.0%	14.9%	14.7%	14.5%	14.3%	14.3%	13.7%	16.7%	
1997年	沖繩	京都	宮崎	高知	福岡	熊本	鹿児島	徳島	愛媛	大阪	合計	
貧困世帯数	36,445	24,015	11,889	6,730	46,395	16,449	16,963	6,483	12,442	68,538	246,349	
総世帯数	136,000	232,000	115,000	66,000	469,000	169,000	176,000	72,000	141,000	816,000	2,392,000	
貧困率	26.8%	10.4%	10.3%	10.2%	9.9%	9.7%	9.6%	9.0%	8.8%	8.4%	10.3%	
1992年	沖繩	鹿児島	宮崎	長崎	愛媛	大分	高知	青森	徳島	佐賀	合計	
貧困世帯数	39,544	27,305	14,504	17,153	15,405	11,891	7,109	13,420	7,482	7,374	161,187	
総世帯数	138,000	188,000	122,000	164,000	159,000	123,000	77,000	150,000	85,000	87,000	1,293,000	
貧困率	28.7%	14.5%	11.9%	10.5%	9.7%	9.7%	9.2%	8.9%	8.8%	8.5%	12.5%	

順位	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	合計	2012年/1992年
2012年	群馬	石川	秋田	三重	岐阜	島根	滋賀	茨城	富山	福井	合計	2012年/1992年
貧困世帯数	16,873	9,505	7,118	15,040	15,931	4,495	11,298	19,558	5,109	3,315	108,243	3.85
総世帯数	164,100	95,400	72,100	157,900	170,000	48,600	130,700	228,100	84,500	60,400	1,211,800	地域間格差
貧困率	10.3%	10.0%	9.9%	9.5%	9.4%	9.2%	8.6%	8.6%	6.0%	5.5%	8.9%	2.35
2007年	埼玉	静岡	千葉	新潟	長野	山形	石川	三重	富山	福井	合計	
貧困世帯数	43,858	22,220	33,480	12,228	10,773	4,917	5,579	7,311	3,943	3,029	147,337	
総世帯数	638,200	331,400	515,900	189,100	178,000	86,800	99,000	151,900	84,000	65,400	2,339,700	
貧困率	6.9%	6.7%	6.5%	6.5%	6.1%	5.7%	5.6%	4.8%	4.7%	4.6%	6.3%	2.61
2002年	長野	静岡	茨城	三重	新潟	千葉	石川	福井	山形	富山	合計	
貧困世帯数	13,291	23,254	16,841	10,294	12,370	33,859	5,568	3,630	4,898	4,234	128,240	
総世帯数	186,700	343,700	265,300	164,900	199,800	548,400	102,100	69,900	99,500	92,400	2,072,700	
貧困率	7.1%	6.8%	6.3%	6.2%	6.2%	6.2%	5.5%	5.2%	4.9%	4.6%	6.2%	2.70
1997年	新潟	岐阜	石川	滋賀	島根	長野	鳥取	富山	山形	福井	合計	
貧困世帯数	7,676	6,286	3,336	4,047	1,862	5,095	1,247	2,219	2,028	723	34,518	
総世帯数	226,000	191,000	109,000	133,000	66,000	201,000	55,000	101,000	107,000	75,000	1,264,000	
貧困率	3.4%	3.3%	3.1%	3.0%	2.8%	2.5%	2.3%	2.2%	1.9%	1.0%	2.7%	3.77
1992年	長野	香川	栃木	福井	岐阜	新潟	滋賀	山形	石川	富山	合計	
貧困世帯数	6,616	3,002	6,037	2,215	5,308	5,357	2,865	2,269	1,911	538	36,119	
総世帯数	221,000	103,000	209,000	81,000	214,000	248,000	137,000	116,000	121,000	106,000	1,556,000	
貧困率	3.0%	2.9%	2.9%	2.7%	2.5%	2.2%	2.1%	2.0%	1.6%	0.5%	2.3%	5.37

平成28年3月1日
山形大学

山形大学の研究紹介 ～学校教育と価値観の形成～

「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」を使命とする山形大学の“旬な研究”を紹介します。今回は学術研究院（地域教育文化学部担当）の窪田康平（くぼたこうへい）准教授の「学校教育と価値観の形成」です。

1 価値観と経済学

窪田准教授らは、学校教育が個人の価値観に与える影響について研究しています。経済学が注目する価値観には、再分配政策や競争政策に対する選好、利他性、信頼、互惠性などがあります。価値観は選挙を通じて政策に反映されるだけでなく、社会規範にも影響を与えるため、価値観に関する研究は経済学の重要な研究課題の一つです。

では、価値観はどのように形成されるのでしょうか。もちろん、家庭や友達、地域コミュニティが価値観の形成に大きな役割を果たすことが考えられますが、学校教育の役割に注目することは政策の観点からきわめて重要です。なぜなら、家庭のしつけに政府が関与することは困難ですが、学校教育ならば政策によって関与できるからです。

2 隠れたカリキュラムと価値観の形成

義務教育のカリキュラムは学習指導要領で決められているため、どの公立小学校も同様な教育が行われていると思われています。しかし、学校教育の中には、隠れたカリキュラムと呼ばれる、学校ごとで異なる教育内容や活動があります。具体的には、国歌斉唱をしない学校や、徒競走で順位をつけない学校があります。

窪田准教授らは、その隠れたカリキュラムに注目し、それが価値観に与える影響を明らかにしました。隠れたカリキュラムに関する17の質問から5つの変数を作成し、それらが様々な価値観にどのような影響を与えているのか統計的に分析しました。その結果、参加・協力型の教育を受けた人は、利他性が高く、協力的で、互惠的で、より強く日本人であることを誇りに思う傾向がありました。一方、反競争的な教育を受けた人たちは、利他性が低く、非協力的で、互惠的ではなく、再分配政策に否定的な傾向がありました。反競争的な教育の意図が他人への思いやりを育むことにあるなら、この反競争的な教育の結果はその意図に反したものとなっています。

3 経済学による教育の研究

窪田准教授らの研究結果は、現世代の学校教育が次世代の政策や社会規範に影響を与えることを示唆しています。経済学による教育の研究は、学力の向上を通じて豊かな社会を実現することだけでなく、他人を思いやることができる価値観の形成を通じてみんなが幸せに生きることができる社会を実現することに役立つと考えています。

詳しい研究内容については、以下の論文をご参照ください。

Ito, T., Kubota, K., & Ohtake, F. (2015). "THE HIDDEN CURRICULUM AND SOCIAL PREFERENCES," ISER Discussion Paper No. 954.

<p>(お問合せ先) 学術研究院 (地域教育文化学部担当) 准教授 窪田康平 Mail : kubota@e.yamagata-u.ac.jp</p>

平成28年3月1日

山形大学

地域で活躍する学生団体紹介

～山形大学モンテディオ山形応援サークル～

「地域創生」を使命の1つとする山形大学では、学生が地域で様々な活躍をしています。今回は、「山形大学モンテディオ山形応援サークル」をご紹介します。

【山形大学モンテディオ山形応援サークルとは？】

山形大学モンテディオ山形応援サークルは、モンテディオ山形の躍進のために一体となって応援し、またクラブ側と連携した学生企画などを通し、若年層の観客の増加を図ることを目的としています（会則第2条）。

発足：2015年6月

会員：発足時14名、現在25名

代表：栗原眞理（くりはら まり）

人文学部法経政策学科2年

顧問：下平裕之（しもだいら ひろゆき） 学術研究院 教授

【活動概要】

主な活動は、ホームの試合において「ゴール裏」と呼ばれる席に集まり応援をしています。その際は、各メンバーがサークルに属していない友人も連れて応援に参加してもらうなど、若年層のサポーター増加や活性化に貢献することを心がけています。



また、ホームの試合以外にもメンバーの一部でアウェイ旅行に行きました。日中はディズニーランドで楽しんだのち、スタジアムへ駆けつけ夜はアウェイ柏戦の応援をするという過密日程の中、メンバー内の親睦を深めることができました。



クラブと連携した活動としては、ヴァンフォーレ甲府戦を対象に女性限定で300席販売した「M5シート」の企画や運営に協力させていただきました。ポスターやチラシ、試合前に掲げた横断幕のデザイン、大学構内でのチラシ配布、大学周辺へのポスター掲示の依頼などを行いました。



そして先日2月7日、日本サッカー協会ビルで開催された、リクルート主催「Jマジ! サポーター団体総会2016」に招待され、サークルの代表4人で参加してきました。そこで5団体が「Jリーグにライト層が観に来るためには何が必要か?」というテーマでプレゼンを行い、光栄にも**最優秀賞**をいただくことができました。若年層の観客を増やすための様々なアイデアを吸収できた、とても貴重な体験となりました。



【今後の活動予定】

今後の大きな目標としては、「**クラブと提携した学生企画の実施**」を掲げています。試合にまだ来たことのない学生をスタジアムに呼び込み、モンテを好きになるきっかけ作りを行いたいという狙いがあります。そのために、チケットやスタジアムまでのアクセス、特典などの点を中心に話し合いを重ね、より多くの集客そしてリピーターを獲得できるような企画を考えていきたいと思います。

<山形大学モンテディオ山形応援サークルTwitter>

https://twitter.com/yu_montel2

(お問い合わせ先)

小白川キャンパス事務部学生課

電話：023-628-4121

平成28年3月1日
山形大学

1. 東北創生研究所主催「次世代地域リーダー育成フォーラム」を開催します

以下の内容で行いますので、取材方、よろしくお願ひします。

◇日時：3月15日（火）13:00-17:00

◇会場：山形テルサ1階大会議室

◇参加定員：40名程度

◇基調講演：JR九州常務取締役 ごとうやすこ 後藤靖子氏（元山形県副知事）

詳細は別紙チラシをご覧ください。

2. 有機材料システムフロンティアセンター開所記念式典、内覧会のご案内

以下の内容で行いますので、取材方、よろしくお願ひします。

【開所記念式典】

◇日時：3月11日（金）11:00～

◇会場：山形大学有機材料システムフロンティアセンター（工学部11号館）

【内覧会】

◇日時：3月11日（金）11:15-12:00

詳細は別紙通知をご覧ください。

3. 平成29年3月卒業・修了予定者向け「山形大学合同企業説明会」を開催

以下の内容で行いますので、取材方、よろしくお願ひします。

3月8日（火）、9日（水）の両日、山形国際交流プラザ「山形ビッグウィング」を会場に、平成29年3月卒業・修了予定者を主な対象とした、本学主催の合同企業説明会を開催します。県内外から、両日合計274社（団体）の採用担当者が来場し、次年度の求人情報や企業概要等の説明等を行います。

詳細は別紙通知をご覧ください。

4. 山形大学学生の継続的被災地復興支援活動「浦戸桂島観光再生ツアー」（第2回）

以下の内容で行いますので、取材方、よろしくお願ひします。

◇期間：3月12日～3月13日

◇募集期間：3月5日まで

◇料金：大人；12,900円、子ども；9,800円

詳細は別紙チラシをご覧ください。

5. 5年目のキャンドルナイト

以下の内容で行いますので、取材方、よろしくお願ひします。

◇日時：3月11日 9：30－20：00

14：30－ 追悼の催し

19：00－20：00 キャンドルの夕べ

◇場所：鶴岡アートフォーラム

詳細は別紙チラシをご覧ください。

以上

観光は地域を元気にする力がある

～地域づくりは人づくりから～



基調講演

JR九州常務取締役

ごとう やすこ

後藤 靖子氏 (元 山形県副知事)

[講師プロフィール]

1980年東京大学法学部卒業後、運輸省入省。運輸政策局観光部企画課企画調査室長、海上保安庁国際危機管理官、国際観光振興機構ニューヨーク観光宣伝事務所長を経て 2005年山形県副知事、2008年北陸信越運輸局長、2010年国土交通省大臣官房審議官、2013年国土交通政策研究所所長。2014年10月 JR九州顧問に就任。2015年6月より現職。

山形大学東北創生研究所 主催

次世代地域リーダー育成フォーラム

平成 28 年

3月15日(火) 13:00～17:00
(12:30 開場)

会場 山形テルサ 1階大会議室
山形市双葉町1丁目2-3 (山形駅西口徒歩1分)

参加定員 40名程度

人口減少社会を迎え、地域の事業者は経営上の課題を抱える場合が多く、また、地域も様々な課題を抱えています。そんな状況下、事業や地域に変革を起こし、未来を切り拓く次世代地域リーダーの育成を目指し「次世代経営者育成プログラム」を実施しています。

観光庁の人材育成モデル事業としてスタートした本プログラムは、平成24年から山形県内で実施し、4期で70余名の卒業生を輩出しました。本年は、参加対象者を旅館ホテル・観光関連から、サービス、飲食、小売業などの次世代経営者まで拡大し、「次世代経営者育成プログラム」として実施しました。本フォーラムでは、受講生の成果発表や講師による基調講演から次世代地域リーダーのあり方、地域づくりについて考えます。

スケジュール

13:00 - 13:40	オープニング 受講生成果発表
13:40 - 15:00	後藤靖子氏基調講演 (70分)
15:00 - 16:45	ワールドカフェ
16:45 - 17:00	クロージング 終了式

「次世代経営者育成プログラム」

受講生成果発表 (2名)

次世代の地域を担う経営変革のプロセス発表

本年度受講生の成果をご報告いたします。過去卒業生の中には、経営変革や組織変革が生まれ、売上増やクチコミ点数が上昇した施設も多くありました。また、本プログラム運用の観点や哲学、ノウハウの要素、地域の次世代リーダー育成に活用できるヒントをお伝えします。

本プログラム卒業生は全旅連青年部や各県旅連青年部など第一線で活躍されています。昨年、卒業生が中心となり「やまがた若旦那プロジェクト」が発足、「経営者として自覚を持ち地域リーダーの役割を担えるようになる」ことを目指して全国から注目を集めています。

▶「やまがた若旦那プロジェクト」



ワールドカフェでフリートキング

地域とともに生きる経営者として、私たちは地域とどう関わっていくのか

参加者全員にご参加いただき、グループに分かれて、地域づくりの未来と次世代リーダー育成について語ります。受講生やOBと対話いただくことにより、アイデアをつなげ、刺激を得て、次なるヒントと未来につながるネットワークを築きかけをつります。

ワールドカフェとは

カフェにいるようなリラックスした雰囲気、参加者が少人数に分かれたテーブルでテーマについて自由に対話を行い、メンバーをシャッフルしながら、話し合いを発展させていく手法です。



お申し込み方法



023-628-4491



k-sangaku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

下記参加申込にご記入のうえ、ファックスでお申込みいただくか、申込内容をメール本文にご記載のうえ、件名「育成フォーラム」としてお申込みください

参加申込書

会社名・団体名	部署名・お役職
お名前	
E-mail	電話番号

■事務局：国立大学法人山形大学
エンrollment・マネジメント部 社会連携課
山形市小白川町1丁目4-12
TEL 023-628-4843

■事業運営：株式会社アイサイト
山形市七日町2丁目7-2 セブンプラザ2F
TEL 023-632-8686

未来を切り拓く!
次世代経営者
育成プログラム

平成28年3月1日
山形大学

有機材料システムフロンティアセンター開所記念式典、内覧会のご案内

山形大学有機材料システムフロンティアセンター（11号館）は、新融合分野「有機材料システム」で基礎研究から社会実装までを推進し、真の異分野（ハードとソフト等）融合を進め、真の産官学連携を進めることで、10年後のイノベーションを先導する国際科学イノベーション拠点として設立されました。このたび、キャンパス内に地上7階建てのセンターが建設され3月に開所を迎えることになりました。下記の日程で、開所記念式典・内覧会等を開催いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

【有機材料システムフロンティアセンター開所記念式典】

日時：平成28年3月11日（金）10:00～

会場：山形大学有機材料システムフロンティアセンター（工学部11号館）

次第：

開会挨拶 10:00-10:05
小山清人（山形大学長）

来賓祝辞 10:05-10:30
伊藤 洋一 様（文部科学省科学技術・学術政策局長）
吉村 美栄子 様（山形県知事）
結城 章夫 様（山形県産業技術振興機構理事長）
中川 勝 様（米沢市長）

施設概要説明 10:30-10:45
大場好弘（山形大学理事・副学長）

式辞 10:45-10:50
飯塚 博（山形大学工学部長）

テープカット 11:00-11:15

【有機材料システムフロンティアセンター内覧会】

日時：平成28年3月11日（金）11:15-12:00

施設概要 新融合分野「有機材料システム」で基礎研究から社会実装までを推進し、真の異分野（ハードとソフト等）融合を進め、真の産官学連携を進めることで、10年後のイノベーションを先導する国際科学イノベーション拠点。10年後の未来を創造し、最新の試作品を閲覧でき、バックキャストの議論などの交流でオープンイノベーションを加速する「フューチャーセンター」を2Fに設置しています。

（建物：鉄骨造7階建て、延床面積：9,888㎡）



※事前申し込みは不要です。

（お問合せ先）

工学部総務課企画総務担当

電話 0238-26-3005

E-Mail:koukikaku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成28年3月1日
山形大学

平成29年3月卒業・修了予定者向け

「山形大学合同企業説明会」を開催

3月8日(火)、9日(水)の両日、山形国際交流プラザ「山形ビッグウイング」を会場に、平成29年3月卒業・修了予定者を主な対象とした、本学主催の合同企業説明会を開催します。

県内外から、両日合計274社(団体)の採用担当者が来場し、次年度の求人情報や企業概要等の説明等を行います。

本学では例年、就職活動を行う本学学生を支援するために、大学主催による「合同企業説明会」を開催しております。

今回は、平成29年3月卒業・修了予定者を主な対象として、来る3月8日(火)・9日(水)の両日、山形国際交流プラザ「山形ビッグウイング」の第1・第2集会展示場を会場に開催いたします。

県内外から計274団体が「ブース出展」または「講演コーナー」での講演者として参加します。なお、出展数の内訳は次のとおりです。

3月8日(火)

ブース出展 : 133団体 (県内に本社を置く企業 うち36社)

講演コーナー : 4団体 (うち1社はブース出展を兼ねます)

3月9日(水)

ブース出展 : 134団体 (県内に本社を置く企業 うち23社)

講演コーナー : 4団体

(お願い)

- ・会場で撮影なさる場合は、3月8日(火)11時00分～12時00分の間でお願いいたします。(受付で撮影許可証をお渡しいたします)
- ・学生本人の同意がある場合を除き、個人の顔が判別できるような写真・映像の撮影はご遠慮いただきますよう、ご配慮の程お願い申し上げます。

●情報掲載サイト <http://www.yamagata-u.ac.jp/career/20160120.html>

【参考】

裏面に、学生向け案内チラシを印刷しております。

(お問合せ先)

小白川キャンパス事務部

就職課 就職支援室

(庄司・久連山)

電話 023-628-4128

📍 発見! 新しい出逢い



旅は島から攻める

笑顔であいあふれる

桂島ツアー

1泊4食付!

第1回

1/30~1/31

募集期間: 1/23まで

第2回

3/12~3/13

募集期間: 3/5まで

料金

大人 12,900円

子供 9,800円

最自慢の「牡蠣」たっぷり食べられます!

ツアー申し込み、詳しい情報はこちらから!!
<http://tour.yamant.com>

山形大学 × 東北芸術工科大学 × 東北公益文科大学 Presents



① 1/30~1/31

募集期間: 1/23まで

② 3/12~3/13

募集期間: 3/5まで

桂島

【katsurashima】

松島を構成する浦戸諸島のひとつ。
グルメも自然も、人も
魅力がぎゅっと詰まった
「桂島」に一度遊びに来ませんか?



桂島ツアー

おすすめ
グルメ



▲焼牡蠣

▼牡蠣汁



▲海苔

▼牡蠣カレー



料金

大人 12,900円
子供 9,800円

<お申し込み先>

募集型企画旅行 (有) 山形E旅
〒990-0811
山形県山形市長町4-5-43
総合旅行業務取扱管理者: 金田史生
【TEL】023-681-3139
【mail】mail@yamagata-etabi.com
【営業時間】月曜~土曜 9:00-18:00
【定休日】日曜・祝祭日
登録番号: 山形県知事登録旅行業2-237号
加盟団体: 社団法人全国旅行業協会

<お問い合わせ先>

山形大学
浦戸諸島桂島観光再生プロジェクト
http://tour.yamant.com
【代表】山形大学 理学部 数理科学科
斎藤航己 (サイトウカズキ)
【TEL】080-3630-9141
【mail】kazuki0411ty58@yahoo.co.jp

1日目

07:00 山形大学出発
07:15 山形駅出発
07:30 県庁出発
09:53 桂島到着
10:00 島民との交流
12:00 昼食(牡蠣カレー)
14:00 島巡り
19:00 夕食(各民宿にて)
星空鑑賞(自由参加)

2日目

08:00 朝日鑑賞(自由参加)
朝食(各民宿にて)
09:00 お土産作り
船で周遊
12:00 昼食(焼き牡蠣)
14:31 桂島出発
16:50 県庁到着
17:00 山形駅到着
17:10 山形大学到着

【注意事項】●民宿での宿泊となりますので、1名でのご参加の場合、同性の方と相部屋になる場合がございます。カッパルや2~4名様のご家族、グループでのご参加の場合、1部屋でのご利用を確約いたします。(お部屋のタイプは1部屋につき、シングルベッド2名分、ソファベッド1名分、ロフト1名分の4名タイプ、また和室もございます)。●民宿にはアメニティ(歯ブラシ、タオル、ドライヤー等)や浴衣はございませんので、ご持参ください。●防犯対策を各自しっかりと準備してください。ツアー内で小型船に乗ることや、夜外出する場合がございます。●部屋数が埋まり次第、募集を締め切らせていただきます。参加ご希望の際は、お早目にお申込みください。●最少催行人数: 1名 ●食事条件: 1日目昼・夜、2日目朝・昼 ●添乗員・バスガイドの同行はいたしません。山形大学学生が様々なサポートをいたします。●料金に含まれないもの: 飲料、お土産等の個人的性質の諸費用、また上記以外のもの ●天候や道路交通事情などにより、コースや時刻が変更となる場合がございます、ご了承ください。●山形県以外からのご参加も受け付けておりますので、ご希望の方はお申込みの際にご相談ください。●アレルギー等ありましたら、お申込みの際にご相談ください。●お申込み方法: 電話、FAX、電子メールにてお問い合わせください。こちらから必要書類を送らせていただきます。特定の申込書に記入の上、各出発日の1週間前(第1回目1/23、第2回目3/5)までに旅行代金を添えてお送りください。●各コース、そのほかはお送りさせていただく必要書類(「ご案内」「旅行取引条件説明書類」等)にてご確認ください。●民宿の空き状況によってはお申し込み締め切り後でもツアー参加が可能となる場合がございます。まずはご連絡ください。

あの日から5年 未来を想う私たちが

柔らかな灯火で ひとつにつながる夜

5

年目のキャンドルナイト

Candle Night

Candle Night from 庄内 - つながる灯火 on 3.11 -

3月11日(金) 19:00 キャンドル点灯
時を同じくして 各会場やおうちでキャンドルを一緒にともしませんか?

3/11 9:30 - 20:00 **鶴岡アートフォーラム**
14:30 ~ 追悼の催し 19:00 ~ 20:00 キャンドルのタベ

2012年から始まった3.11のCandle Night
キャンドルを静かに灯しながら過去に黙祷し安らかな未来を願い、想いを共有しましょう。

中町商店街
18:00~20:00
酒田市でも同時開催
15:00~17:00
チャレンジショップふれっしゅにて、
キャンドルに震災復興への
応援メッセージを書く
ワークショップ開催

キャンドル作りワークショップ **参加無料**

鶴岡協同の家
こぴあ2階
2/27 [土] 28 [日] 11:00 - 16:30
3/5 [土] 6 [日] 11:00 - 16:30
鶴岡アートフォーラム
3/10 [木] 13:00 - 19:00
3/11 [金] 9:30 - 14:00

写真募集!

あなたのキャンドルナイトを投稿してください



みなさんのご家庭・職場などで灯したキャンドルの写真を
コメントと共に下記アドレスまで投稿下さい。
それぞれの想いをネット上で共有(シェア)しましょう。

✉ shonai.c.n@gmail.com



Facebookにて最新情報配信中!
facebook.com/candlenight.3.11

主催 | 5年目のCandle Night実行委員会
共催 | 鶴岡市・山形大学農学部 後援 | 鶴岡市教育委員会・鶴岡市社会福祉協議会 協力 | みんなで集えば文殊の知恵
お問合せ | 5年目のCandle Night実行委員会 山形大学農学部内(担当 菊池) TEL: 0235-28-2880

2012年から始まった3.11のCandle Night

震災から5年目の3月11日に、鎮魂と被災地復興の想いと安らかな未来を願うキャンドルを一緒につくり、各会場やお家で一緒に灯しませんか？



キャンドル作りワークショップ IN こぴあ

開催日：2月27日（土）・2月28日（日）、3月5日（土）・6日（日）

時間：11：00～16：30

会場：鶴岡協同の家 こぴあ 2階 こぴあ展示ホール

鶴岡市作成のハザードマップや防災マップ・非常持出品一覧など防災展示同時開催！

参加無料
申込不要

3月6日（日）13：30より、NPO法人「明日のたね」さんの☆防災クッキング講座☆を行います。こちらも参加無料です。みなさんの参加お待ちしております！



キャンドル作りワークショップ IN アートフォーラム

日時：3月10日（火）13：00～19：30

3月11日（水）9：30～14：00

会場：鶴岡アートフォーラム アトリエ

参加無料
申込不要

2階ギャラリーにて、防災展及び5年目のCandle Nightの活動紹介も同時開催しております。

11日15時10分からは、鶴岡市防災安全課より「鶴岡市の防災のお話」をして頂きます！

みなさん是非来てくださいね！



5年目のCandle Night 3.11 on 鶴岡

会場：鶴岡アートフォーラム

14：30-15：00 追悼の催し

19：00 キャンドル一斉点灯

19：00-20：00 キャンドルの夕べ 開催 市民有志による歌や合奏など音楽披露

参加無料
申込不要

東日本大震災がおきた翌2012年。鶴岡に避難してきた1人の女性の想いへの共感から始まった「3.11のCandle Night」。あれから4年・・・復興が思うように進まない一方、震災の記憶が風化しつつあるように思います。

あの日、あの時の出来事。その時に気が付いたこと、感じたこと。

この5年間で変わったこと、明日からの未来に向けて考えること。

きっかけとなった3月11日にキャンドルを灯し、安らかな未来を願い家族が無事にすごせるありがたさを感じ、またそれぞれの場所で時を同じくして灯すことで、多くの皆さんの思い合う心が繋がったと思います。

この活動は、SNS(Facebook)で繋がる市民と大学生が協力し、このCandle Nightを実施しています。

Candle Nightで使うろうソクは、庄内一円のお寺・セレモニーホール・個人の方よりご寄附頂いたものです。ありがとうございます。それを一旦溶かし、カラフルなキューブ作りに変えてワークショップで使用しております。

より多くの皆さんにキャンドルをともしていただきたいと思っております。ご家庭で眠っているろうソクがありましたら、ご寄附いただけると幸いです。